

令和 2 年

第 5 回仙北市議会定例会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

令和 2 年 6 月 4 日

令和2年第5回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項についてご報告します。

はじめに、市内小・中学校の再開後の対応についてです。

新型コロナウイルス感染症拡大による市内小・中学校の臨時休業が5月6日で終了し、翌7日から再開しました。

今後、新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波等の拡大が懸念されている中で、再び臨時休業等となった場合のために、オンライン推進のための対策として、各家庭のインターネット環境の実態調査を実施しました。

この調査により、約10パーセント（約150人）の小・中学生がインターネット環境が整っていないという結果になっています。その他、家族と一緒になければインターネットを見ることができないや、フィルタリング対策がされていない機器、データ使用量により料金が変わる従量制である等の課題もありますが、タブレット等の貸与や通信料の助成などにより、小・中学生全家庭とのオンラインを推進します。

また、臨時休業により授業ができなかった7日間の補充については、夏期休業の7月27日から30日までの4日間と8月19日から21日までの3日間を臨時登校日とすることにしました。

続いて、各課等の主な事項についてご報告します。

【教育総務課】

◇仙北市育英奨学資金の被貸与者の決定について

令和2年度「仙北市育英奨学資金」の募集に対して、高校2人、専門学校2人、短大1人、国公立大学3人、私立大学2人の合計10人（昨年度17人）の申請がありました。

4月27日、仙北市育英奨学資金運営審議会を開催し、学校長の推薦内容や学業成績、所得状況を参考に選考した結果、10人全員

(昨年度17人)が奨学生として適正であるとの意見をいただき、答申どおり決定しました。

また、令和元年度「仙北市育英奨学資金償還金免除」について、申請された51件の免除決定の報告をしました。

育英奨学資金については、学生の向学の志を支援し、人材育成を図るため、今後もより一層管理体制の強化及び貸与財源確保等による健全な運営に努めます。

◇あきたキッズ プログラミングアワードについて

秋田魁新報社主催「あきたキッズ プログラミングアワード」が昨年末から今年初めにかけて行われました。

これは秋田県内の小中学生を対象にしたプログラミングコンテストで、秋田の未来を担う人材育成の場づくりとプログラミング教育のすそ野拡大を目的としたものです。

応募総数113組(123人)の中から、1次審査、2次審査を見事通過したファイナリストが先日、秋田さきがけ新聞で紹介されました。

アイデア部門の10組の中に、神代小5年 高橋りのあさん、5年 藤井咲那(さや)さん、6年 齋藤ひなたさん、西明寺小6年 羽崎ことあさん、6年 芳賀音羽(おとは)さん(いずれも応募当時の学年)の5人が入り、「ファイナリスト賞」をいただきました。今年度から小学校で必修化したプログラミング教育ですが、仙北市では移行期間から積極的に取り組んできました。未来を担う子供たちに必要なプログラミング教育に更に力を入れていきたいと思えます。

【生涯学習課】

◇「花いっぱい運動推進事業」にしきのフラワーロード一斉植栽の中止について

地域住民をはじめ、関係施設の職員や西明寺中学校など幅広い方々

から協力をいただき、例年5月の最終日曜日に実施している「にしきのフラワーロード105一斉植栽」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から今年度は中止としました。

なお、花いっぱい運動推進事業の一環であるマリーゴールド花苗配布事業については、前年同様、植栽を希望する集落や施設、さらには幼保施設や小中学校に対し約25,000本の花苗を6月5日に配布し、新型コロナウイルスに負けない「花のあるまちづくり」に市民総掛かりで取り組んでいきます。

◇「仙北市外ノ山テニスコート」の使用中止について

外ノ山テニスコートは、昭和58年に建設された角館町勤労青少年ホームに併設された施設で、近年は老朽化による損傷が点在しています。

現状のままでは転倒事故などが危惧されるため、市教育委員会と指定管理者である「仙北市体育協会」、「仙北市ソフトテニス連盟」が協議した結果、当面の間、使用を中止することとしました。

外ノ山テニスコートは「ハードコート構造」で、改修工事には多額な費用がかかることが見込まれるため、今後の市全体のスポーツ施設のあり方を含め、利用者の動向などを鑑み今後の方針を検討したいと考えています。

【仙北市民会館】

◇第35回生保内節全国大会の中止について

9月26日から27日に予定していた第35回生保内節全国大会は、5月7日に田沢湖総合開発センターで開催された第1回実行委員会において、参加者が全国各地から集まることや平均年齢も高いことなどを考慮し、新型コロナウイルスの感染症拡大の終息が見通せない状況を受け、今年の大大会中止を決定し来年度に第35回大会を開くこととしました。

【学習資料館・イベント交流館】

◇フェアブル昆虫記を訳した 椎名其二展について

昨年10月29日から今年4月3日まで開催しました「フェアブル昆虫記を訳した 椎名其二展」に引き続き、展示内容を更新して「虫たちも騒つく 日本語訳」と題した「フェアブル昆虫記を訳した 椎名其二展」を開催していますので、ぜひ皆様からご覧いただきたいと思っております。会期は7月15日までです。

【スポーツ振興課】

◇田沢湖マラソンの中止について

5月12日に実行委員会の書面決議を行い、参加者が全国のみならず海外からも多数おいでになり、新型コロナウイルスの感染症拡大が強く危惧されることから、9月20日開催予定の第35回田沢湖マラソンの開催を中止することとしました。

【文化財課】

◇各種イベントの中止について

5月29日から31日に秋田市で開催予定の「これが秋田だ！食と芸能大祭典2020」について、2丁内の曳山が出演に向けて準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により今年度は開催中止となりました。

また、今年は芦名家によって角館の町割が行われてから400年の区切りの年となることから、8月に町割400年記念シンポジウムを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の終息が見込めないことから、今年度の開催を見送り来年度に延期することにしました。

【角館町平福記念美術館】

◇「没後40年渡辺浩三展」について

6月7日から7月17日まで、「没後40年渡辺浩三展」を開催

します。

渡辺浩三は、仙北市角館町白岩出身の洋画家で、今年は没後40年という節目の年にあたり、近年ご遺族の方々から、作品や資料を新たに数十点ご寄贈いただきましたので、これまで美術館で所蔵している作品と合わせて紹介します。

フランス留学時代の作品、帰国してからの作品等、浩三が意欲的に描いた作品の数々を、この機会にぜひご鑑賞いただきたいと思います。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げ、教育行政報告といたします。